

現代の中東

第37号

2004年7月

目次

話題

トルコのインフレが1桁に 間 寧

イランの「イスラーム新思考」……………坂梨 祥 2
—「政教一元論」への新たな視角—

レンティア国家論と湾岸諸国の「民主化」……………松尾昌樹 19

シンポジウム報告

作家と語る現代トルコ文学……………大島 史 32
—オヤ・バイダルとその作品—

現状分析

サウジアラビアの「民主化」問題 ……………福田安志 42
—改革派の請願書の分析を中心にして—

資料紹介 ……………64

編集後記

- 今号で大島さんが紹介して下さったトルコ現代文学シンポジウムは、私にとって二つの点で印象に残る会議でした。ひとつは、日本ではじめてトルコ語で行なわれたシンポジウムだったということ。もう一つは、書き手がトルコの社会や政治が抱える問題に注ぐ視線の厳しさに改めて気づかされたことです。文学は趣味で読むだけなので場違いかしら、と思いながら出席した会議でしたが、地域研究者として多くのことを考えさせられました。

(村上)
- オーストラリアへ留学したイラン人の友人とメール交換をしている。英語も堪能な彼だが、われわれはいつもペルシア語で交信。アルファベットに転写するペルシア語は、ふだんわれわれが会っておしゃべりする時のまま、文法も適当、スペルも適当だ。おかしいことに、書く分量も話す時と同じである。わたしが一行書けば、彼が5行書いてくる。もちろん先方は母国語だから……と思わなくもない。しかし仮に日本語でやりとりしても、私はやはり負けてしまいそうだ。

(岩崎)

本誌に掲載されている論文などの内容や意見は、外部からの投稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

現代の中東 No.37

2004年7月15日発行 ©

定価 735円 (本体 700円)

編集・発行

独立行政法人日本貿易振興機構
アジア経済研究所

編集

地域研究センター

発行

研究支援部

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉 3-2-2

TEL 043-299-9735 FAX 043-299-9736

E-mail : syuppan@ide.go.jp